

# 福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

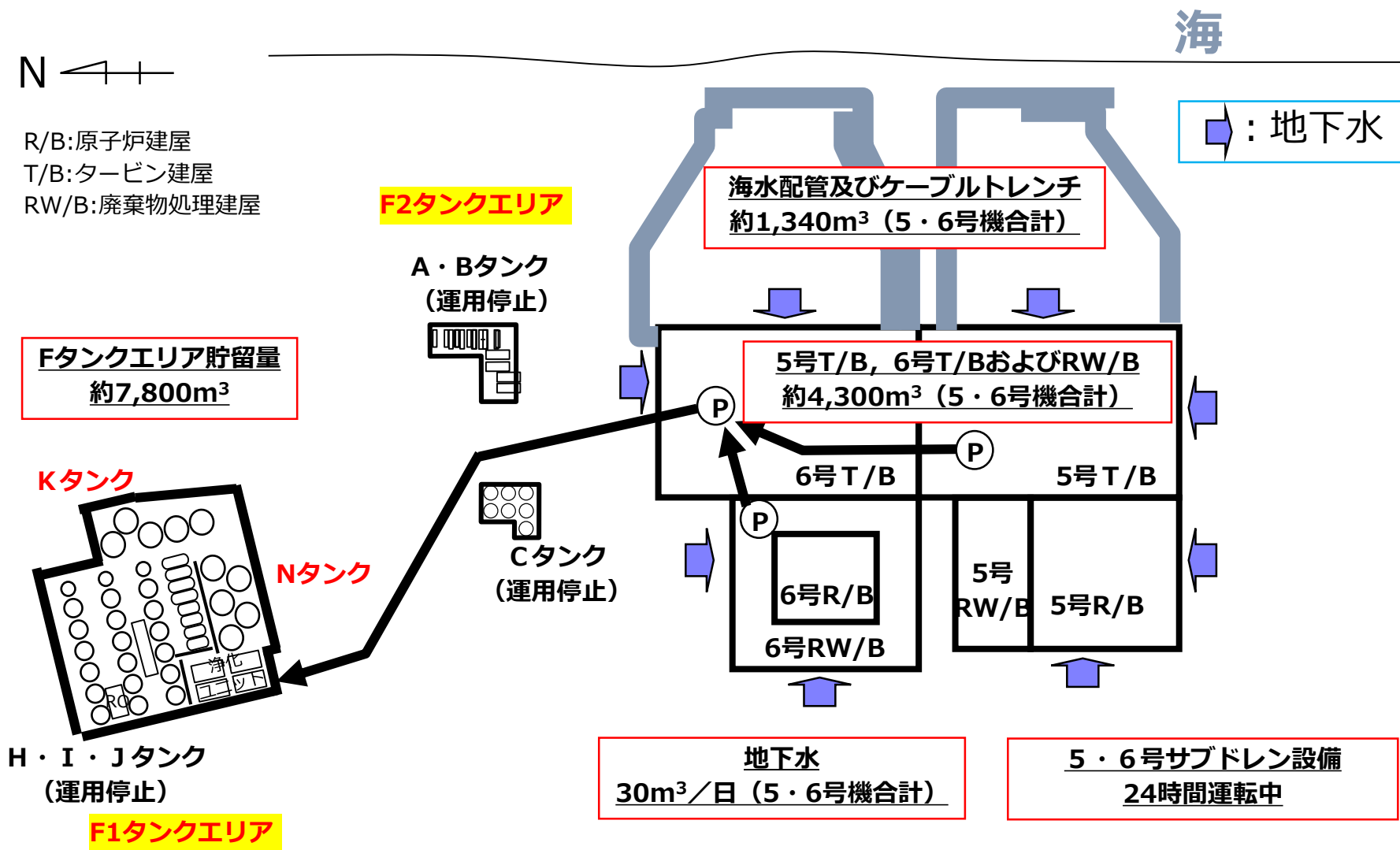
(5・6号機低レベル滞留水の状況)

2024年6月27日

---

東京電力ホールディングス株式会社

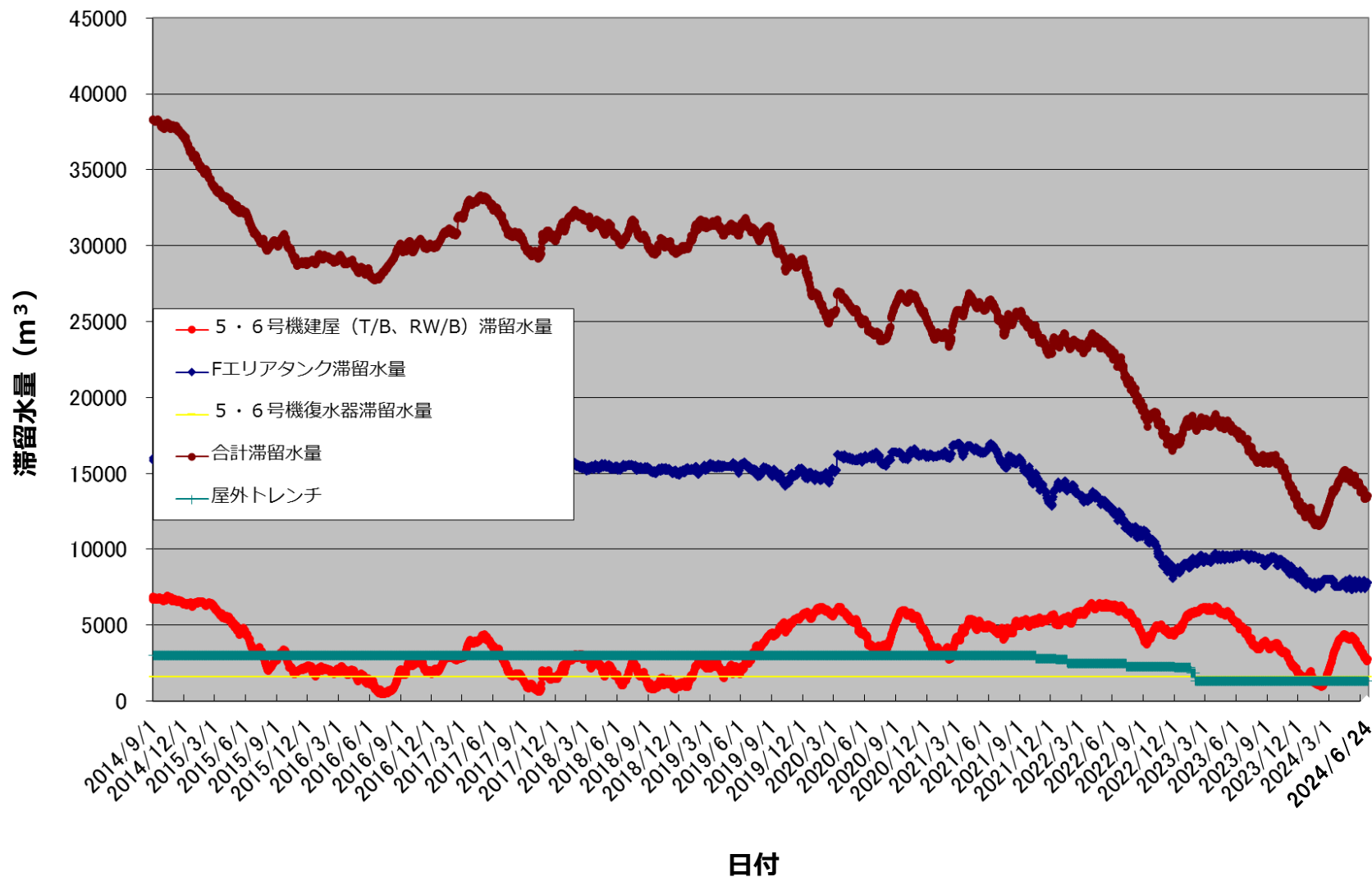
5・6号機 低レベル滞留水量の合計約13,440m<sup>3</sup> (2024.6.24現在)



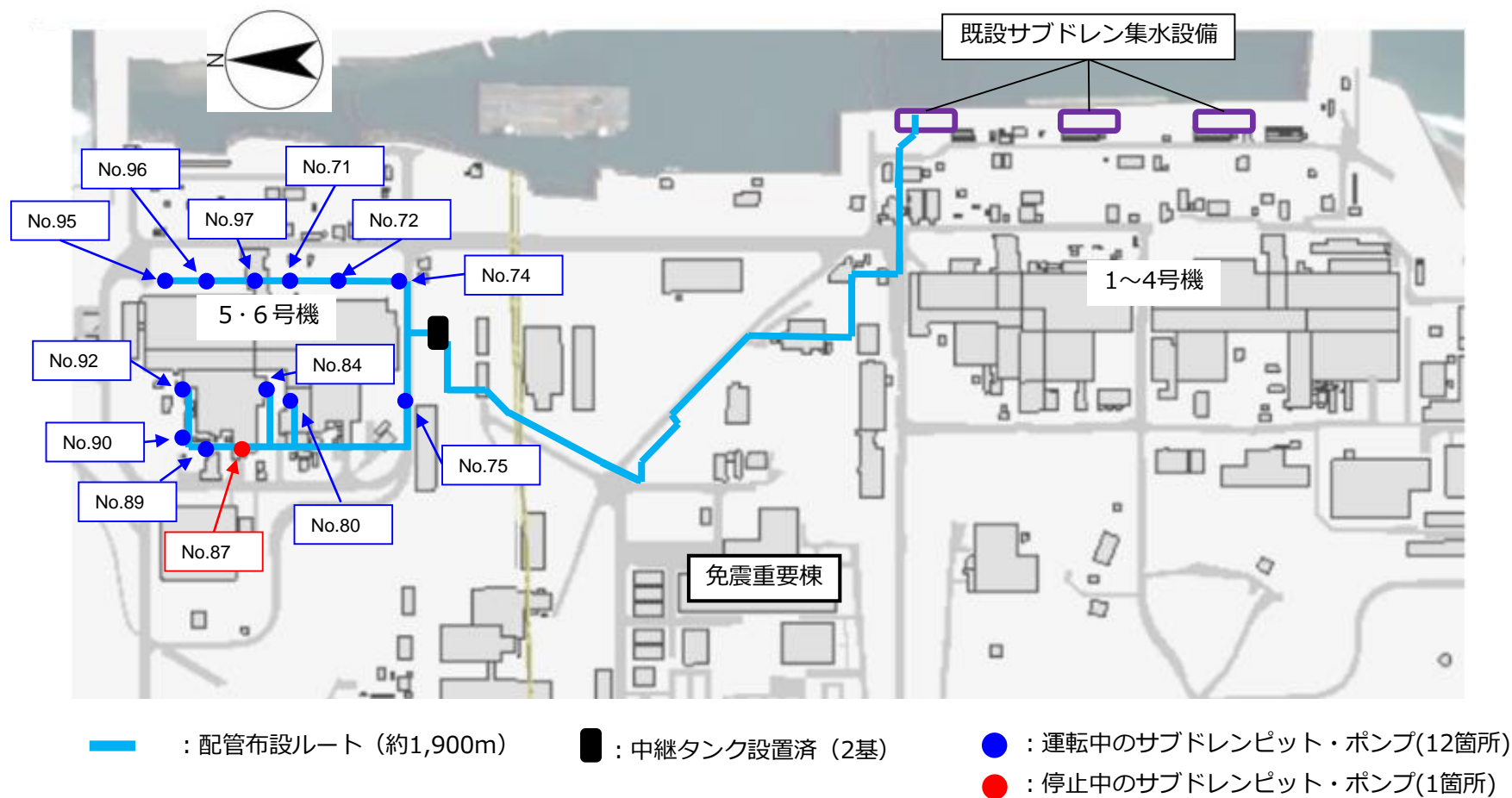
※1 : 5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

- 2014年9月から2024年6月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

**5・6号機 低レベル滞留水量の推移**



- 5・6号機サブドレン設備は2022年3月28日より運用（移送）を開始し、現在は24時間運転中※2

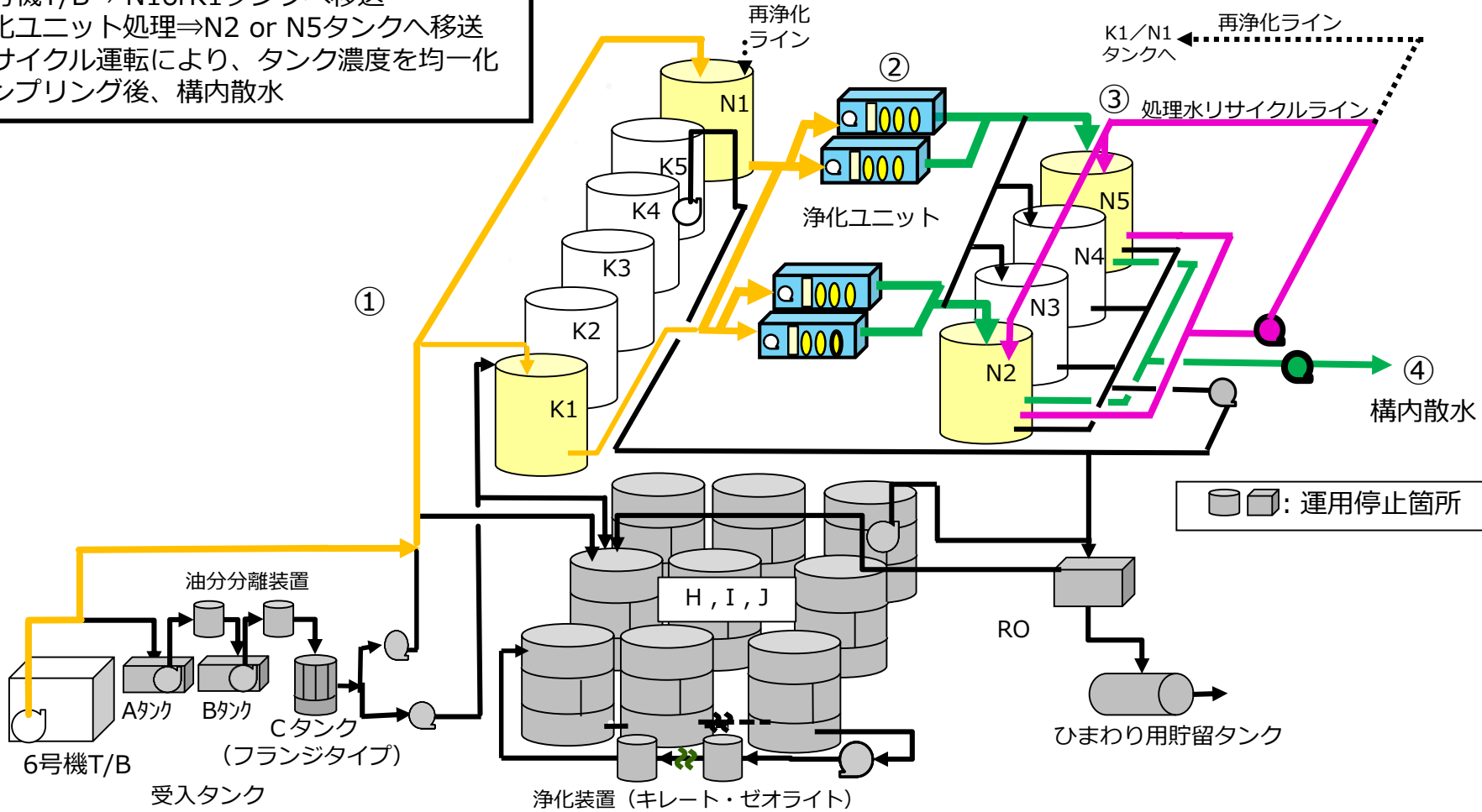


※2：汲み上げ量の監視を行いながら、サブドレンピット・ポンプの運転計画を立てている。



## 【5, 6号機建屋滞留水処理方法】

- ① : 6号機T/B⇒ N1orK1タンクへ移送
- ② : 浄化ユニット処理⇒N2 or N5タンクへ移送
- ③ : リサイクル運転により、タンク濃度を均一化
- ④ : サンプルング後、構内散水



<凡例> — : 滞留水ライン — : 処理水ライン — : 処理水リサイクルライン — : 運用停止ライン